



四天王剽盜異錄

後編

三

W3
974
8



山博三
本町
山博三
13
974
8

源家 四天王 剽盜異録卷之八
勲績

東都 飯台 曲亭 主人 著
門人 魁 蕃 癡 叟 校

第十五綴

市原野小綱鬼同麻呂宛走らんと欲談
附 足柄山小頼光危難を脱し給ふ事

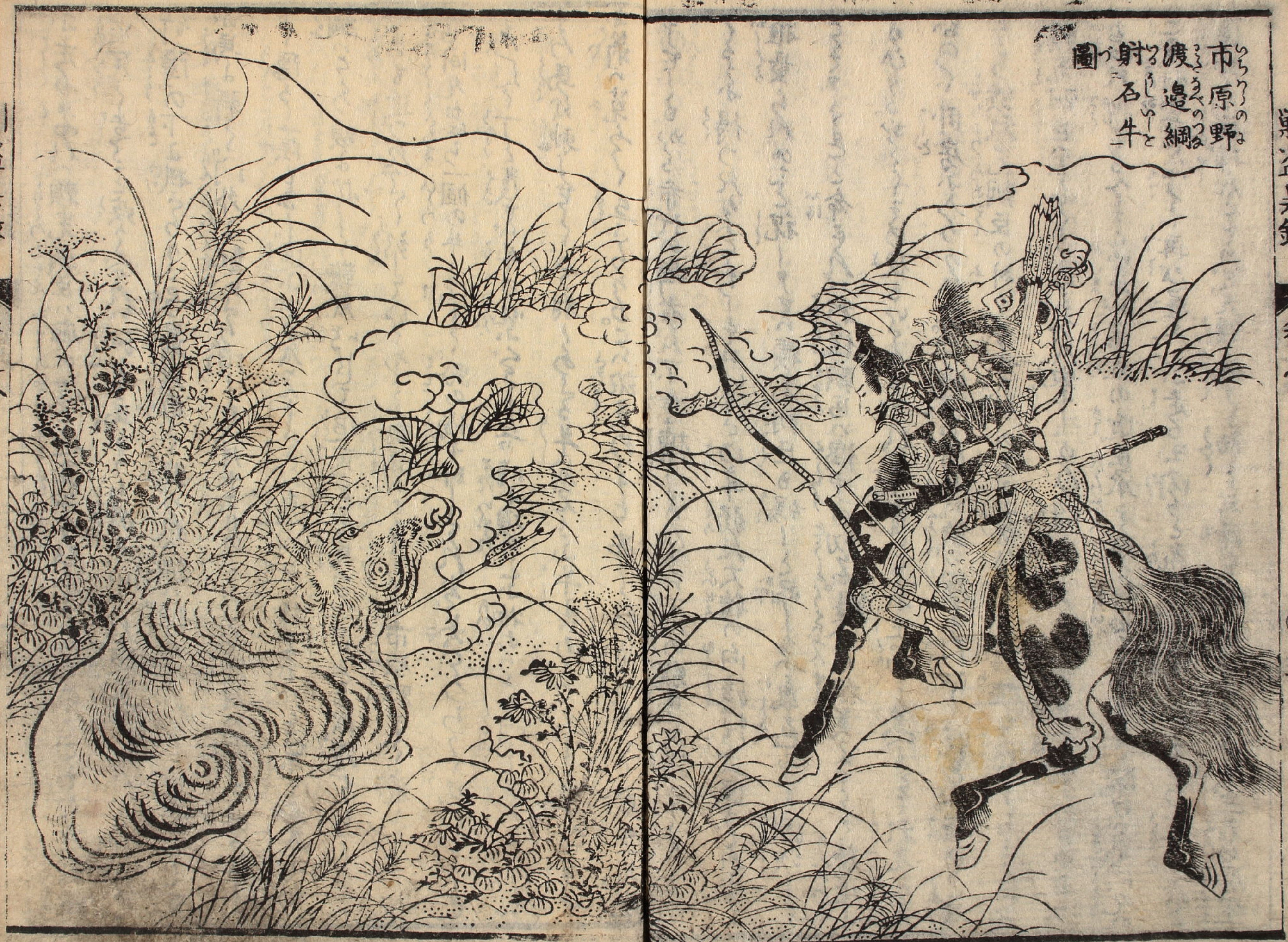
頼信朝臣ハ二條河原より駿馬を得ひしとをいともてびりたればその
驥馬ハ一歩も歩かずして路を多たのりて連枝多た中ちのりて
は舎見頼光朝臣とて眠り語りひぬま中途中より彼は館へ人を走らせり
横江へさう路よりあつた馬は得てはるるが明日賢達か入るはるる
とを告げしむる。頼光朝臣の音に聞食て馬の武士の嗜養をたれず
物なり。羽とといひんをねむりてびりたれば。今より彼奴ふゆと一見とてと宣ひ

山博三
本町
山博三

近曾赤山の乾の谷。鬼同丸といふ妖怪住す。形如禽獸魚鱉。人如妖
 しくこれに食らふ。食らふとやう。やういふ今の妖怪の鬼同丸か。誘ふ人彼地お
 ちた。まづその形勢をえ。のり共なる。謀るべし。宣ひつ。兄弟舟一
 厩に到る。近江前ふ。燭を照して。これに人せ。実ふその容尋ね
 のりのあ。あす。面色の夜又ふ異。鉄指と重。手足
 の古木。如曲。針。似。毛。生。れ。光。し。く。内。鏡
 一。か。癩。者。繩。ゆ。り。癖。更。あ。ん。巖。縛。り。宣。信。実。中。の。一
 石。や。鉄。の。鏢。を。強。く。縛。せ。鬼。同。丸。且。苦。痛。を。受。め。る
 と。偏。れ。光。を。為。こ。う。と。う。恨。今。ふ。と。ひ。あ。さ。さ。や。い。か。へ。意。定
 居。り。た。う。か。て。その。夜。頼。光。朝。臣。が。別。室。小。清。の。ひ。れ。信。ら。う。響。應。の
 勸。益。あ。と。渡。辺。細。斑。か。と。せ。り。源。氏。の。御。武。德。今。ふ。と。め。ど。と

せ。も。か。希。代。の。癖。者。か。不。意。捕。り。ひ。一。足。の。駿。馬。か。得。こ。ん。り。
 得。つ。れ。ら。う。と。い。い。ま。し。う。年。弱。大。将。の。向。後。は。武。運。も。れ。や。
 推。量。ら。れ。い。と。祝。し。頼。光。朝。臣。の。娘。と。思。ふ。氣。色。も。源。次。と
 こ。ま。う。ま。と。命。と。ん。れ。信。朝。臣。の。偶。中。の。功。名。過。分。の。稱。美。う。と。嫌。遠
 か。ひ。る。か。て。その。夜。も。い。て。更。か。ん。今。宵。か。止。宿。め。と。し。頼。光。兄。が
 か。の。く。臥。房。ふ。り。の。ひ。ぬ。の。時。鬼。同。丸。の。鉄。の。鏢。を。引。切。脱。き。出。屋。の。上。に
 うち。毀。れ。光。朝。臣。の。お。り。の。天。井。の。と。お。宿。ひ。居。る。熟。睡。の。ふ。か。す。ら。り。し。か
 頼。光。朝。臣。へ。と。う。の。氣。か。察。し。の。誰。か。あ。る。の。屋。の。上。小。怪。け。の。あり。
 ち。か。探。ら。う。と。宣。宿。直。の。近。臣。承。り。め。と。起。出。て。鬼。同。丸。の
 この。肝。響。か。す。再。び。屋。の。と。走。り。出。内。つ。と。茶。壇。の。外。に。近。臣。を
 追。知。捕。ら。ん。と。れ。五。體。癱。く。動。か。得。じ。細。の。と。ば。と。や。主。君。の。寢。室

市原の野
渡邊の網
射る石牛
圖

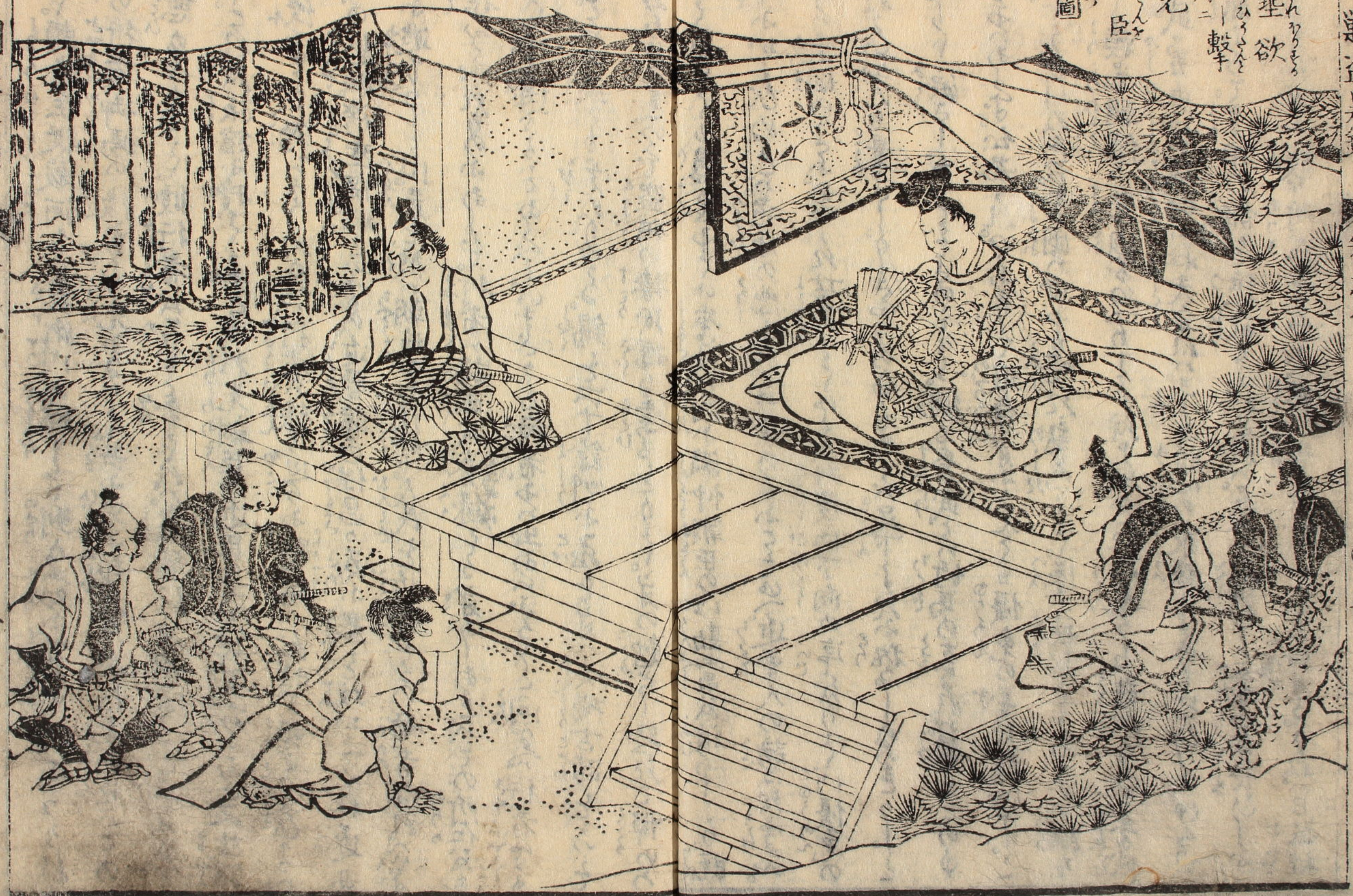


第廿五卷

卷之五

三

袴垂欲
 頼光
 朝臣
 圖



彼奴の強ひかんとすとは定む近巨頭を回して御座の後の強ひかんとす
 氷のどれ鋭鏡七本と壁の助枝とつめえくまらりければ駭然とす大
 かどりき。向ふと君行者と回答し多々えは軀を右中左りふらひひら
 らの鋭鏡を避ん為ふくちせしと吾儕その左右ふありまら。まらざりしと
 度なまこと慙愧しく。まもく感嘆しりり。この折も綱石田の松原すく。
 俱の下部が物あざびのやうな鎮ん。後陣ふ下り。やこの地方
 追つたをん。頼光朝臣まらぐのゆ物。綱由をまらうら驚
 死かる癖者。この過あふいふせん。まらうら下り。まらとまら
 とぞ諫めし。この驛あま且く人馬の足分休められ。頼光朝臣
 ともわく。足柄山孤越のみ只見龍徒ら秋山の羊額雲横らり。麓まら
 の雨ふら。轟く。峻谷の楓樹葉赤く。錦を翻風は悲ふ向とら

孤峯。天より小高く。直下せ。青潭地を穿く。深く。あまの險阻を歴て巔ら
 く来り。不時忽ち物の吼る声と山谷かまら。御書とん。頼光と馬
 ひと一個の部あふ走せ。その処かふせの。やう走り。やとや
 したの谷間。松の杉。熊と蜘蛛と戦ひ。共小若守勝ふ。と吼ゆと
 とも。まら。見物。ら。一見と。主徒ひ。その処ま到
 の。谷間。生や。凡三圍。あ。松の上。大や。熊の若ら。長
 長二十尋。あ。の蜘蛛下り。跋登。その熊。巻。四巻。け。帰。ら。に
 吞んと。熊の吞。身。起。前足。蜘蛛の頭。小。り。列。表。ん。蜘蛛
 列。表。ま。と。巻。む。小。共。小。若。い。不。吼。こ。小。御。書。山。谷。を。鳴。動。せ。ら。
 頼光。つ。い。こ。ま。り。て。熊。へ。春。り。秋。の。こ。近。樹。の。こ。極。の。り。や。の。ふ。の。熊。の
 と小眠居。ら。蜘蛛。が。心。規。り。て。吞。んと。ま。ら。ん。ら。熊。の。仇。を。こ。ら。ん。

頼光の足柄山
の熊蛇
之戦圖



新五異録

卷之八



新五異録

卷之八

十一

怪童丸
赤裸靴
李武圖



東海道御成敗
卷之六

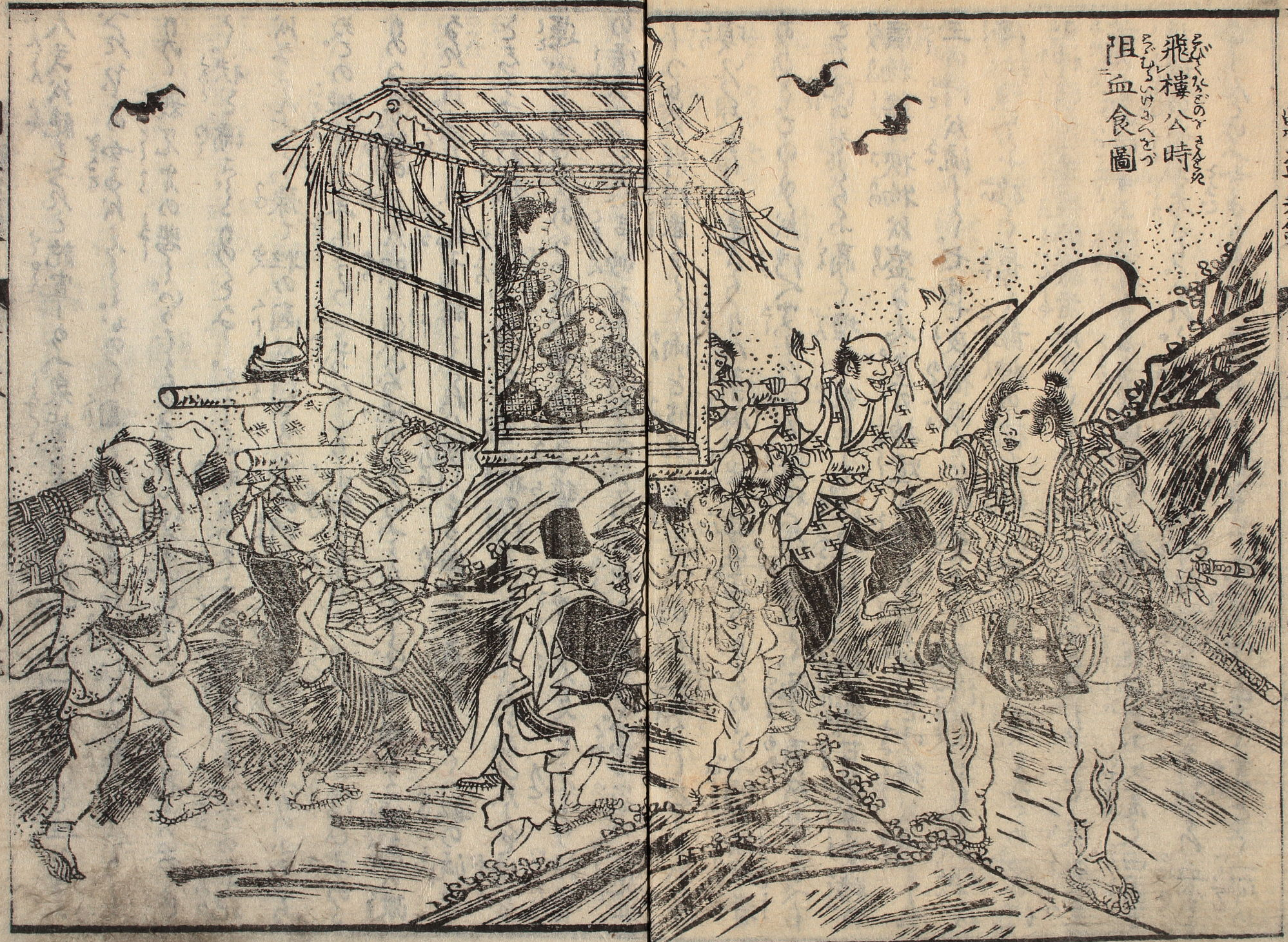
通一の六。綱も又別一封の書公季國小贈。李武のまゝ公受取
君思公拜謝しつ。やうくこのところより起程。於光朝臣へ綱公時
以下之士率を將く。遂小巔公越。時小山峯。子小つり。つり
身今より君公依けく。斬公除逆公討。忠信更不懈。とみん
功なり名公遂。公の貝。鴟夷子が五湖小棹。一畱候。漢公諱。とれ
做へよ。それをほこの山小あり。はるがかり来。をまら。とつり。ハ
公時の別離の悲。うま。堪。忽ち声公。驚。哭。う。う。君臣
五七町乃山路公過。り。頭を圓く。彼処をえれば。白雲路公
遮りく。や山。姨。い。え。え。ど。り。ぬ。

第十六綴

上總の國府小公時姫松公救ふ談
附 濕津の池。比神血食乃事

頼光朝臣。九月中旬。上總國市原郡。府の城小到着ありて。りり。善公
彰。悪公誠め。普。仁政を布。と。多。ひ。れ。國中。く。流。り。て。途。小。遺
金公拾り。夜。戸公鎖。民。の。業。を。の。り。こ。酒田公時。鯁直性
急の勇士。され。バ。ス。一。身。を。ろ。ろ。小。倦。一。日。城。外。小。立。お。く。ひ。り。街。衢。公。猶。祥
。ゆ。こ。こ。十五町。り。忽。ち。疎。林。の。隙。ち。市。の。翻。公。え。く。と。や。や。それ
く。酒を飲。ま。ま。が。氣。力。が。ぐ。衰。ら。ま。ら。彼。怨。あ。く。些。の。酒。を。喫。し。て。
鬱。氣。公。も。く。す。べ。と。と。ひ。く。や。ぐ。彼。酒。肆。小。到。も。酒。酒。の。少。女。出。じ。一
。接。土。小。誘。ひ。登。り。鉦。子。盃。小。散。り。添。り。り。来。ぬ。公。時。こ。り。よ。五。六
。挽。乃。酒。公。飲。り。と。ん。こ。少。女。忙。々。樓。を。走。り。下。り。その。ち。ら。へ。と。て。来。り
こ。り。り。移。小。掌。公。拍。鳴。これ。公。呼。ぶ。も。回。答。不。せ。ざ。ら。ん。と。い。い。
勃。然。と。く。ス。小。怒。り。汝。小。客。公。迎。さ。ず。か。く。酌。も。扱。と。ん。れ。公。法。不。

飛樓公時
阻血食圖



川...

...

...

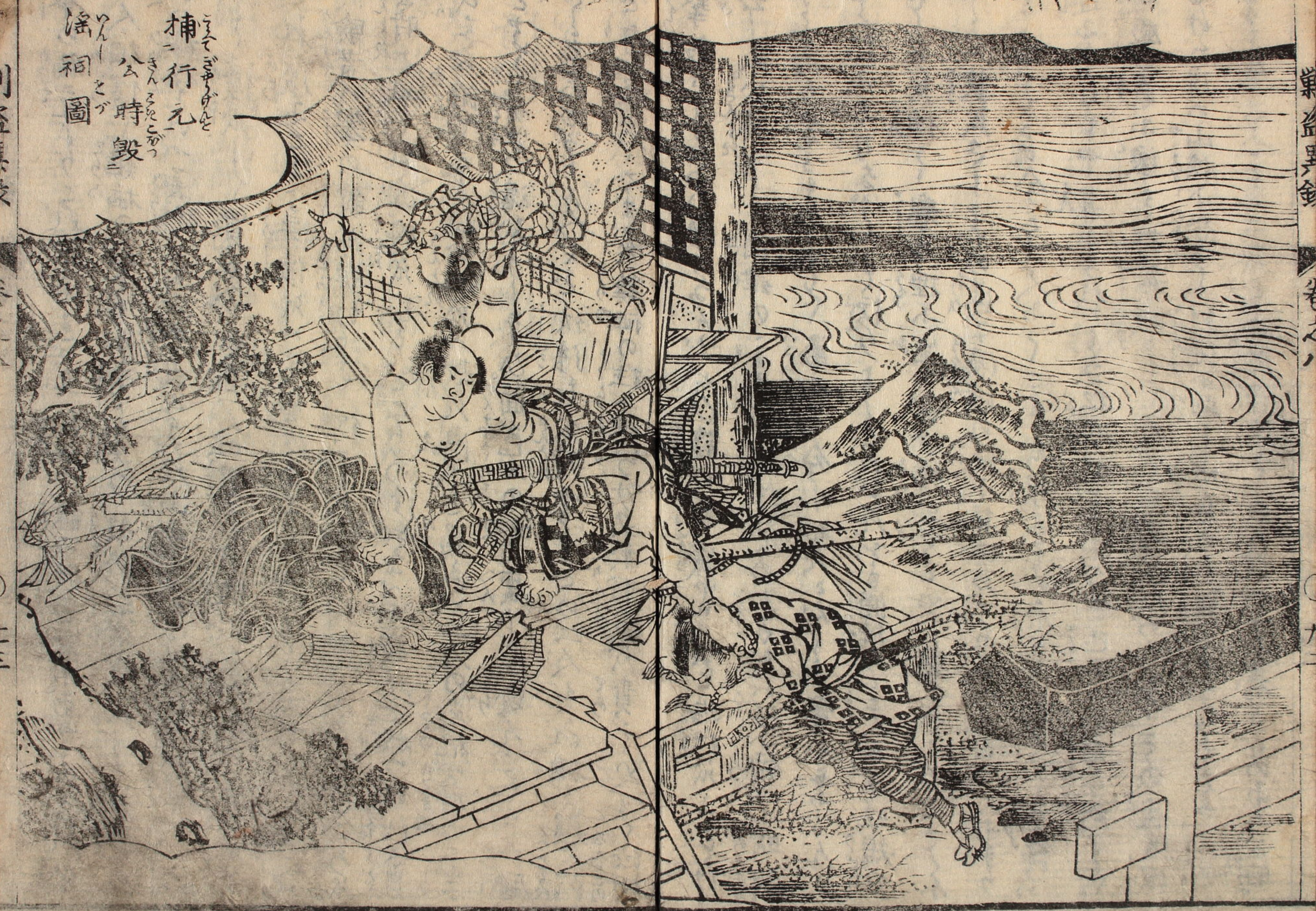
...

...

...

うらみあつてのりか多ふ。のりて戲言宣へ。うらめえりて言ひ。公時
 まさしくこれと笑ひ。やうく立あがりんとする。おのりての響は。端出
 の繩に。まゝいゝる。人あまゝゝゝゝ。これに早急。道徳。まゝゝゝ。
 幣帛。捧祝。誦高。やふ揚。既。小樓の下。に。おのり。こゝに。公時。欄
 の。辺。より。牙。爪。蹴。て。閃。つ。と。飛。り。響。の。前。に。立。ち。や。り。汝。思。心。民。お
 宝。紀。に。あ。り。ま。う。漫。ふ。人。が。り。り。と。こ。こ。と。ま。り。と。呼。び。れ。その。声。霹。靂。の。落。り。お
 今。夜。の。牲。と。ま。り。べ。り。只。か。も。も。も。も。も。も。の。あ。ら。ま。ら。終。り。お
 後。國。司。不。許。へ。な。も。り。ま。の。塔。ひ。大。山。の。明。也。か。ら。ふ。異。な。う。す
 い。ま。の。り。を。押。し。殺。さ。る。べ。り。又。え。ん。べ。後。お。神。の。崇。あ。ら。も。今。立。地。不

撃殺。さ。ま。ん。あ。り。勝。り。ま。ん。ど。お。ひ。諦。め。皆。一。議。中。乃。と。始。終。公。と。と。け
 中。の。公。時。や。う。酒。肆。の。主。人。が。よ。び。く。この。女。子。が。汝。小。領。下。明。朝
 け。う。り。束。う。ま。で。う。く。勅。ま。と。命。づ。お。た。ま。う。響。お。あ。ら。ん。と
 ち。か。れ。お。太。刀。ま。が。く。と。俵。り。よ。う。ま。れ。お。酒。肆。の。主。人。お。よ。り。短。刀
 を。り。瓜。佩。く。響。の。裡。お。坐。し。う。き。檯。お。せ。と。の。り。響。お。え。の。こ。と。お
 へ。て。押。ま。ら。ぶ。今。こ。十。人。あ。り。こ。こ。に。お。早。お。その。肩。を。は。堪。え。う。え。は。く。
 途。中。に。日。も。中。暮。お。た。れ。ま。ま。松。明。お。さ。り。つ。ま。己。お。その。怨。お。到。り。く。
 神。殿。の。前。に。響。を。扛。居。暇。や。う。く。人。く。く。く。く。ぬ。お。く。く。その。夜。も。深
 ゆ。け。が。月。の。山。挾。お。登。り。新。池。お。印。し。水。鳥。の。声。寒。く。突。え。く。ま。や。三。更
 ころ。ん。と。こ。ころ。二。こ。人。の。足。音。く。あ。の。び。や。う。お。あ。ら。の。あり。公。時



捕行元
 公時毀
 淫祠圖

明日國司不犯由公告（まふし）もまらるるまらるる。これに汝（きみ）が首（かぶ）を取（と）す。さうして
 らあゝ苦痛（くるしみ）せしころひつ。是（こゝ）も雞栖（けいせ）不縛（ふばく）。社壇（しゃだん）不（な）仲（な）に
 夜の明（あ）る（る）公待（まち）居（ゐ）らる。かゝく東（あづま）やあゝいゆ。彼誰時（かれたれとき）里人（さとびと）あり公時（とき）が
 のゆりまきれば明（あ）る公遅（おそ）く（おそ）きり来（き）る。この光（あ）氣（き）とんて疑（う）ひま（ま）ひ
 きる。且（かつ）その思（おも）ふれと智（ち）せむ公時（とき）里人（さとびと）あり近（ちか）く（ちか）行（い）えが新（あらた）悪（あく）二人乃
 光棍（こうこん）がゆり。群（ぐん）ふらう。又（また）せ汝（きみ）不慮（ふりょ）浅（あ）く。行（い）え不（な）訥（だつ）と去年（こぞ）より五七
 人のち（ち）公（こう）棄（す）れらる。まはるは渠（ちやう）奴（に）あり拷問（こうもん）。賣（う）らる御貫（ごくわん）と探（さ）索（さく）てその
 ち（ち）公（こう）得（え）る。とて之（こゝ）衆（しゆ）皆（みな）とめく。曉（あ）得（え）る大（おほ）不（な）發（はつ）る。ち（ち）公（こう）地（ぢ）と不
 拜（はい）伏（ふく）。誠（まこと）ふ思（おも）ふ吾（われ）倫（りん）が為（ため）の土地神（ちのつかみ）一代（いちだい）の護身（ごしん）本（ほん）をふとてま（ま）ひま（ま）れと
 いひく。あゝと眼（まなこ）を公時（とき）や。里人（さとびと）あり之（こゝ）の光棍（こうこん）あり。遂（つひ）不（な）室（むろ）倉（くら）不
 火（ひ）とて。替（か）時（とき）不（な）燒（や）尽（じん）。あゝと彼（かれ）酒肆（しゆせい）不（な）到（たう）。姫松（ひめまつ）とて。城中（じやうちゆう）不（な）立
 ちまはるのゆり。けいせ。まはる道（みち）次（つぎ）不（な）群（ぐん）と集（あ）れ。只（ただ）言（い）公時（とき）が智（ち）勇（ゆう）と
 稱（な）賢（けん）も。不（な）題（だい）この朝（あ）頼（らい）光（こう）朝（あ）臣（しん）の公時（とき）がまの城（しろ）とて。いひて。とて。聞（き）食
 いとゆのち。あゝと。網（あ）を。このゆり。公時（とき）とて。り
 来（き）る。姫松（ひめまつ）の。行（い）えが。隱（いん）隠（いん）一（いち）五（ご）十（じゅう）告（こ）と。まはる。頼（らい）光（こう）朝（あ）臣（しん）感（かん）悦（えつ）斜（しゃ）と
 ぐ。公時（とき）を賞（しょう）。の。月（つき）臺（たい）不（な）立（た）。姫松（ひめまつ）とて。不（な）漂（ひょう）泊（ぱく）
 故（ゆゑ）を。同（どう）の。多（た）田（でん）の御（ご）館（かん）の。衆（しゆ）不（な）得（え）。時（とき）保（ほ）捕（と）の
 叔（しやく）の。又（また）保（ほ）捕（と）不（な）棄（す）。渡（わ）海（かい）の。紅（こう）中（ちゆう）雅（みや）同（どう）あり。行（い）脚（きゃく）の。比（ひ）丘（きゆう）尼（に）不（な）助（すけ）れ。
 この刑（けい）不（な）漂（ひょう）。七（しち）年（ねん）の劬（く）勞（らう）艱（い）難（なん）。詳（しょう）不（な）許（よ）。頼（らい）光（こう）朝（あ）臣（しん）ら
 發（はつ）らる。有（あ）斯（し）の。姫松（ひめまつ）の。実（ま）不（な）烈（れつ）行（い）女（にょ）。汝（きみ）往（い）不（な）保（ほ）捕（と）。毒（どく）手（て）公（こう）脱（だつ）。この浦（うら）み
 漂（ひょう）来（き）らる。時（とき）。里人（さとびと）あり。縁（えん）由（ゆう）と告（つ）ぐ。故（ゆゑ）郷（きやう）あり。同（どう）の。姫松（ひめまつ）
 津（つ）國（くに）近（ちか）く。百（ひやく）六（ろく）十（じゅう）里（り）の路（ぢ）を隔（へ）らる。とて。あゝと

（This page contains the continuation of the text from the reverse side, which is mostly illegible due to fading and bleed-through. The visible characters are sparse and difficult to transcribe accurately.)

